研究課題名	ロコモティブシンドロームの早期発見を可能にする新しいスクリーニング方法の確立およびフレイルやサルコペニアとの因果関係の検証
研究責任者名	広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮
研究期間	2022 年８月 23 日(許可日）～2033 年１２月３１日

対象者

2021 年４月から 2022 年 10 月の間に、研究課題「ロコモティブシンドローム重症度別の体力測定値の統計学的分布」に参加された方。

意義・目的

立つ、歩くといった移動機能の低下を意味するロコモティブシンドローム（ロコモ）は、フレイルの前兆の一つとして考えられています。ロコモはロコモ度テストやアンケートで診断されますが、このテストやアンケートを行う以前にロコモを早期発見する方法は、まだ確立されていません。また、ロコモとフレイルの関係も十分に解明されていません。私たちは以前の研究課題において、握力や開眼片足立ち保持時間といった体力測定値からロコモを発見する方法を提案しました。今回、この方法を確立し、また、ロコモとフレイルおよびその関連要因（サルコペニアなど）の関係を明らかにするため，この研究を計画しました。

方法

先行研究で収集した情報を、本研究で二次利用いたします。本研究では，体力測定、体組成の計測、アンケートの結果を活用します。活用する体力測定の結果は、握力、開眼片脚立ちテスト、Timed up ＆ Go テスト、5m 通常・最大歩行時間です。活用する体組成の計測の結果は、身長、体重、BMI、体脂肪量（部位別を含む)、体脂肪率、筋肉量（部位別を含む)、SMI などです。活用するアンケートの結果は、年齢、性別、フレイルに関する項目（体重減少、疲労感、身体活動)、身体の痛み、転倒についてです。個人を特定可能な情報は解析に用いません。氏名などの個人が識別できる情報を削除し、誰の情報か分からないよう加工したデータをクラウドに保管して、データを共有し共同研究機関と解析を実施します。

利用または提供を開始する予定日は広島大学における許可日（2022 年８月 23 日）以降です。

研究の実施体制

広島大学

研究代表者　広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮

機関の長　　広島大学理事　田中　純子

共同研究機関

神奈川県立保健福祉大学

研究責任者　田中　繁治

吉備国際大学

研究責任者　井上　優

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮

個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口 〒739-8521　東広島市鏡山 1-7-1 Ｔｅｌ：082-424-6585 広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮